

第7回 まちづくり委員会 事項書

平成27年7月22日(水) 午後7時～
小山田地区市民センター会議室

【時間配分の目安】

1. 会長あいさつ [5分]

2. 前回のふりかえりと今日の進め方について [5分]

3. 全体討議 —— 小山田地区の将来イメージの検討
 - 1) 提出していただいた「事前アンケート」の結果を報告します。 [10分]

 - 2) 一人ずつ、「小山田地区の将来イメージ」についての意見を発表します。 [30分]

 - 3) 意見に対する質問、補足意見などを出し合い、議論します。 [30分]

 - 4) 出された意見から「小山田地区の将来イメージ」をまとめます。 [10分]

4. その他(今後の進め方、連絡事項など) [5分]

【今後の予定】 次回の役員会(準備会) 平成27年8月17日(月) 午前9時30分～
次回のまちづくり委員会 平成27年8月26日(水) 午後7時～

A

豊かな自然を残し
活用したまちづくり
土地活用
有休地活用し収益をあげる

↑

自然と環境を
生かしたまちへ

自然資源
PR
広場（遊べる場所）

交通網
移動手段の整備
※道路整備
※高速バスセンター美里

↑

生活をしやすい
定住環境を守りたい

生活していく上で
不便さを感じる
ことが多い（交通・施設等）

交通

欲しいな奨励金（移住・定住・結婚・出産）
育てたい人のつながり
残そう人のやさしさ

↑

地区で子どもを育てる
農業の後継者も
↓
住みよい町につながる

町民
子供・老人を見守る
（みまもりたい）

人の優しさを感じる事が
多々あり、文化郷土
芸能も引き継がれて
いて、大切にしてい
きたい

となりどうしの
ふれあい

人口減少（特に若年層）
高齢化がすすみ
地区に活気が乏しい

農家を元気に！
早期獣害対策
（イノシシ・さる・鹿・
ハクビシン）

↑

キャラクターを作り
地区のPR

文化・食・自然
まずは小山田地区を知
ってもらおう

名産品
郷土料理

名所マップをつくる
お気に入りの風景

歴史・昔話

B

農業を守る	地区の文化を守る	自然キャラクター保存	地区循環バス	老人パワーの活用	小山田病院を中心に活用（保育所の新設）
↑	↑	↑	↑	↑	↑
農業後継者の育成	文化財	おやまだ桜	コミュニティバス	老人パワー	小山田記念温泉病院と地域との交流、連携
農地を守りたい	祭り	大楠	地域循環バス	鹿間町 食文化（ガラ）	小山田病院の活用
荒地の活用	各地 農作業に関わる風習 御鋤・しめ縄作り他	鹿間町 マンボ 水路確保	交通不便	地域ぐるみの子育て	公共設備が少ない
里山の保全	六名町・山田町 ししまいの保存活動	ヒメコウホネを守りたい	地域の広がり つながり バス他	子どもの地域学習の推進	スポーツ施設の誘致
小山田朝市を開く 農産物売りたい	昔話付の散歩マップ	ヒメコウホネの保存 生態調査		空家の活用法	フラワー・ミルク道路の活用
獣害	盆踊り	ヒメコウボの保存会をつくる		地域愛（郷土愛）	

C

守ることで人が集まる

↑

遊び場
交流の場

文化施設を守る

公共施設、スポーツ施設をつくりたい

保育園の設置

地域交流スペースをつくりたい

地区がたすかる
住民の安全安心
安定した収穫収入

↑

獣害対策を進める

獣害をなくしたい

ジビエ料理に活用

郷土料理と地域特産品の選定

山菜、タケノコ、ジビエ
郷土料理

小山田地区の特産品を作る

雇用の創出

地区の活性化

↑

定住環境を守りたい
(南部工業団地を活かす)

若者が住みたい町

自然
茶畑アート
ホテル
桜を見下ろす

↑

里山づくりと設置
小山田八景の選定

里山整備
ホテル

自然資源を守る

農地を貸し出したい
(市民農園として提供する)

桜並木をつくりたい

交通の緩和
通学通勤

↑

生活をしやすいにする
スーパーマーケットの立地

生活をしやすいしたい

小山田朝市
ミルクロード活用

フラワー道路の延長

地区循環バスをつくりたい

道路環境をよくする
(ミルクロード・フラワー道路)

ミルクロード沿いを活用したい

南北道路がほしい

小山田地区まちづくり構想のための小学生アンケート（速報・一部）

小山田小学校にご協力いただき、4年生から6年生までの児童の皆さんに回答にご協力いただきました。回答は全部で85件でした。

今回は速報として、その中の「質問3」の主な意見をご紹介します。

質問3 10年後に、こんな小山田地区にしたいと思うことを教えてください。

分類	件数	主な意見
便利	35	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 快適な町にしたい。電車とか小さな病院とかなど。 ➤ 公園やお店などがたくさんあるけど、自然もある小山田地区。道路もちょうどいいぐらいの大きさと、歩道もあってほしい。バスなどの交通きかんと、発達してほしい。 ➤ ノートとかがきれたらすぐ買いに行けるようにしたいと思う。 ➤ イオンモールなどを建てて、都会にしたい。 ➤ 店がなにもないからもっと店がふえて、にぎやかになってほしい。
元気、にぎわい	19	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子供が元気よくすごせる小山田地区。 ➤ 人がいっぱい活気ある楽しい地区に。そのためには小山田をもっとPRしていけば良いと思う。たとえばゆるキャラとか。 ➤ このまちをよりすみやすく あきやのないところ。
環境、自然	18	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 田畑がひろがっていてみどりいっぱいの自然がある、今のままでほしいです。 ➤ いまよりもかんきょうがよくて、知らない人々で、協力ができる地区がいいと思う。 ➤ 自然がきれいで体にわるいはいなどが無い地区にしたい。そして自然の木を切りたおして自然はかいするのがなく、緑や季節によって自然の色がかわる地区になってほしい。
楽しさ、笑顔	17	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 楽しくて笑顔があふれる小山田地区！ ➤ 今の小山田地区よりたのしくすごせたり、友達のことを考える小山田地区にしたいなと思いました。 ➤ 自然がいっぱい、楽しいまち、ペットショップがある、カブトとクワガタがいっぱいとれる。
施設	16	<ul style="list-style-type: none"> ➤ もうすこし、店・公共しせつなどをふやしたいと思います。若者たちに多くの知識をあたえるため、多くの本がそろっている図書館をふやしたいと思う。 ➤ 小さな子供も小学生も遊べる場所がある小山田がいいです。（おじいさんもおばあさんも） ➤ プールやかんこう的な所がいっぱいふやしてほしい。
きれい	9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ゴミが落ちていたら、だれのもないけどひろえる人がいるようにしたい。 ➤ ごみのないきれいな小山田地区がいい。いろんな花がさいていてきれいな小山田地区がいい。

分類	件数	主な意見
人間関係	8	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域の人同士と家族のような関係でいられる小山田地区。 ➤ おじいさんおばあさんを大切に、わるい子や人がいない自然豊かな地区。
安心・安全	8	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事故なく歩いてかえられること。 ➤ もっと緑がいっぱいでのんびりした、みんなでたすけあえたり、どろぼうはぜったいいないところにしたいです。
おだやか、平和	6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 産業、農業を発展させ、大きな、私たちのふるさとの田舎でもある、都会でもある地域になってほしい。 ➤ へいわで、自然な所にしたい。みんながなかよしでやさしい所でおだやかがいいです。
行事	6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ このまま、自然がいっぱい続いていき、祭りなどの行事が、かわらなく続いて行ってほしいです。 ➤ 子どもや大人もたのしめる小山田地区にしてほしい。もっとにぎやかで、冬とかにもいっぱいおまつりをしてほしい。
人が集まる	5	➤ いろんな人がこれる小山田地区にしたい。(いい人だけ)
働く、産業	2	➤ 働けるところがあってほしい。
その他	3	➤ 10年後の小山田はかわらずそのままいてほしいです。

※分類名は、記述された内容から共通すると考えられる言葉を便宜的に抜き出したものです。

小山田地区まちづくり委員会 第7回事前アンケート一覧

第6回のまちづくり委員会でA～Cの各グループから出していた「キャッチフレーズ」案に対し、そのままの案は「○」、一部を抜き出したものは「△」、複数の案をまとめたものを「□」と表現しました。A～C案をさらに発展させたものは「他」の欄に「○」を付けました。

質問1	質問2				質問3	
	A	B	C	他		
1 「自然・文化を大切に、つながろう小山田」		○			・自然キャラクター(ヒメコウボウなど、桜、大楠)をキャッチフレーズに入れ、キャッチフレーズをよりインパクトのあるものにする ・小山田病院等を中心にした地域開発の展望、構想	・コミュニティーバスを実現するため、他地区の先進的な取り組みがあれば知りたい。情報収集 ・上記、自然キャラクターの写真等
2 「自然・文化を大切に～つながろう小山田」		○			地域のことをよく知って地域を愛する子どもを育てる。 例えば、夏休み中の1日、子どもたち(希望者)とおとなで地区内の史跡や施設を自転車でまわるというのはどうでしょう。学校の了解や安全面の確保、さらにできれば昼食等の準備が必要ですが。	地区内の史跡等を訪ねてみたい。
3 つながろう小山田			△		自分の住んでいる町内も含め、他地区の様子も知らない事も多いと思います。各町の行事や取り組みを紹介したり、見学や参加する機会を作り、小山田地区全体で理解を深め、連帯意識を強くする必要があります。	農業(食も含め)をもっと身近に感じてもらえたらと思います。
4 つながろう小山田			△		守るものは守る 残すものは残す 育てるものは育てる 活かすものは活かす 新たに生むものは生む	小山田地区として「小山田の特産品をつくり商品化して販売する」 例えば ジビエの場合、有害鳥獣(イノシシ)を活かされる(活かすものは活かす)、農業が守られる(守るものは守る)、商品化する(新たに生む) お茶を使う場合、茶畑が守られる、残せられる、子どもたちの食育が出来る(育てるものは育てる)、活かされる、商品化で新たに生むことができる。 商品化して、販売や地元のみなさんに振る舞うことができれば、人が集まる、小山田地区の収入源にもなる(その収入で子どもたちに何かできる)よって、「つながろう小山田」になっていく。
5 そのままの自然と交通の緩和で、住民の安全安心、活性化(人が集まる)			○		安全最優先が課題です。かかせない問題でまったなしです。早急に取り組む必要があります。私の近くで(堂ヶ山町)大雨とか台風がくるとヒヤヒヤしておられるお家があります。自然の破壊での山くずれ、自主避難の状況に有ります。これで安全、安心な町と言えるでしょうか？ ほうっておくわけには行きません。目に見える活動で成果を上げたいと思っています。	気がかりを提案したが、(だれが、いつ、どこで、何を、どの様に)進めるのか？明確にする必要が有ると考えております。そうでなければ前に進みません。 その他には、ミルク道路ぞいに、 ①高速バスのバス停を作りたい(名古屋、京都、大阪、セントレア等に行ける様に) ②道の駅おやまだ、を作りたい(JAさんといっしょに) もちろん、コミュニティーバスの運行も実現させるべきであると、考えております。 [目に見える活動、楽しい活動は、自分たちで作るものだと思っています] ③目標はでっかく、市民センターをミルク道路ぞいにもって来たい(みんなの便利さを考えて) ④イベントが出来るホールも作りたい(たとえば青山里会のピュアホールの様に)→避難場所の確保としたい
6 そのままの自然と交通の緩和で、住民の安心、安全、活性化(人が集まる)			○		農業風景を残し自然を身近に生活出来ることを継続。そのためには若者の定住化や農業後継者の存続、又若者世代が住み続けるための企業誘致や道路環境の整備が必要。 便利な生活環境、老人、子供の居場所(集会所、公園)の整備など。自然環境の保存や観光要素の発展により、集客や移住、定住を増やす。	・自然環境の保存や観光要素の発展。コスモス畑やひまわり畑、田園アートなど四季を通して、小山田地区での自然や環境整備により人を集め、小山田地区のアピールをしていく。 ・宅老、宅児所を一緒にした集会所のような居場所で昼間を過せる場所作り

第6回のまちづくり委員会でA～Cの各グループから出していた「キャッチフレーズ」案に対し、そのままの案は「○」、一部を抜き出したものは「△」、複数の案をまとめたものを「□」と表現しました。A～C案をさらに発展させたものは「他」の欄に「○」を付けました。

	質問1				質問2	質問3
	A	B	C	他		
7		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		フラワー道路の延長と鳥獣害対策	自然と文化を守っていくためのボランティア参加
8		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・農家所得を増やす事によって、荒れ地、空家、少子化、後継者不足の解消。 ・南部工業団地を活性化。地元雇用の創出によって若者を残す。 ・先進地を参考にする。 ・小山田に安住出来る環境を整備する。 例として、①コミュニティバス導入 ②市街化調整区域の土地利用の規制緩和により、市内24地区の中で人口減少率の激しい地区からの脱却。	新しい作物の導入、特産品開発、6次産業化で農家(小山田地場産業)を元気にする。
9		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かな環境造り ・伝統的な文化の受渡し ・道路整備等 ・耕作放棄地の改善 	耕作放棄地を見なおし市民貸農園と調和の取れた住民の憩いの場所を手がけたい
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			1)基幹産業として農業を守り、後継者を育成する 2)新規産業・企業を誘致し、地域の活性化を図る 3)地域巡回のコミュニティーバスを整備する 4)地域の歴史・文化を掘り起こし、次世代に継承していく 5)高齢化先進地域として、老人パワーを活用する	1)豊かな自然を守る……里山公園づくりに参画中 2)地域の歴史・文化を守る……郷土史愛好会に参画中 3)老人パワーの活用……地区老人クラブ連合会長として活動中 4)地域の情報を広報・活用する……地区ホームページ管理・運営中
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		憩いの場所(老若男女が楽しめる施設)を設置、それに伴うアクセス(循環バス)の充実	1、サークル活動の実践 2、特産物の販売とPR
12				<input type="checkbox"/>	基盤産業は農業→遊休農地の活用 9町のつながり→通学道路を中心にした道路整備 人口の下げとまり→土地調整区域の緩和(商業施設の導入) →空き家利用 →子育てが出来た施設など環境作り 文化、歴史→後継者づくり、祭りなど継続対策	自然を守る→竹やぶの整備(竹は外来種で、イノシシなどの寝場所) 人の優しさ→ネットワークづくり(困りごとに対応、会員制でNPO立上げ)
13				<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・荒地に花(木)を ・ミルク道路沿いに道の駅(農産物・花木) ・地域内交流のために、フラワー道路の延長を ・小山田記念温泉病院施設群を活かした福祉の拠点づくり 	荒地の解消と活用(花(木)の里づくり)